

ぼうさい甲子園・高校生部門

# 山崎高2年連続大賞

ガイド本  
独自作成

防災教育や防災活動に取り組む生徒らをたたえる17防災未来賞「ぼうさい甲子園」で、山崎高校(栄栗市山崎町加生)が高校生部門の最優秀賞「ぼうさい大賞」に選ばれた。昨年度も大賞、2年前は優秀賞を受賞しており、3年連続の入賞。独自の防災ガイドブックを作成したことなどが評価された。1月13日に県公館(神戸市中央区)で表彰式がある。(古根川淳也)

同賞は県などが主催し、本年度は小学校から大学まで109校・団体の応募があった。

同校は大地震が予想される山崎断層上にあり、東日本大震災後の2013年から、生活創造科の2年生が企画・運営する防災訓練を始めた。これまで地域の災害時要援護者リストや防災マップも作っている。

今回の審査対象になった17年度は、防災訓練で自衛隊や消防などから学んだ内容をガイドブックにまとめた。空き缶でご飯を炊く方法や、避難所で必要になる係などを紹介。地域住民にも各戸配布した。県によると、生徒主体の活動で、地

域とも連携し、継続性もある点が高く評価されたとい

う。

17年度の統括リーダーだった生活創造科3年田中沙弥さん(18)は「ガイドブックには写真を多く使い、大事なことは赤字にして分かりやすく工夫した。多くの人が防災について考えるきっかけになってほしい」と話していた。



ぼうさい甲子園で2年連続の大賞に選ばれた山崎高校生活創造科の生徒ら＝栄栗市山崎町加生